

ひなどり



園だより

令和4年7月8日

新潟市立新津第三幼稚園

教頭 近藤 恵

五感をつかって考えながら

全身で様々な感触を味わいながら、感動や驚き、発見に出会い、毎日が学びの連続です。

〈年少組〉



〈年中組〉



〈年長組〉



ありのままの自分

大好きな先生をよりどころに、自分は受け入れられているという安心感の中で、ありのままの自分を表現しています。まさに幼児教育の根っことなる大切な時期です。

友達と一緒に

側にいる友達と気持ちを通わせながら遊ぶ楽しさを感じています。友達と関わる中で、様々な葛藤も経験しながら、人との心地よい関わり方を学ぶ人間形成の核となる時期です。

試行錯誤して

どうしたら自分のやりたいことが実現できるかな？と友達と考えながら遊びを進めています。目的に向かって、友達と協力してやり遂げた達成感を味わう充実期です。



豊かな畑 ～自然と触れ合って～



春先から、全園児でいちごを摘んで味わったり、年長組が「菌ちゃんの元気な土づくり」に挑戦したりしながら、日々自然と触れ合ってきました。年長組が、地域のお店に野菜の苗を買いに行って植え、大切に育ててきた夏野菜が、元気に育ってきています。枝豆・オクラ・トマト・キュウリ・カボチャそれぞれの生長の様子に目を輝かせながら、毎日水やりを続けています。また、カラスに食べられないためには？風で倒れないようにするためには？雑草を抜く意味は？等々、一つ一つ考えて生活をするすることで、知的好奇心が培われてきました。



ジャンボオクラ
ができたよ。



草取り
よいしょ！



びっくり！これ
きゅうりだよ。



質の高い保育を大切に ～年中組 研究保育を通して～

質の高い幼児教育を維持するために、今年度も各クラス研究保育を行います。先日、教職員で互いに保育を見合い、指導者をお招きして第1回研究保育・研究協議会を行いました。様々な角度から、子どもたち一人一人の姿を考察し、育てたい方向性を共通理解したり、教師の援助や環境構成を振り返ったりしながら学び合いました。

普段からの異年齢交流「わくわくタイム」や担任交代「シャッフルタイム」等で、全園児一人一人の育ちや良さを職員全員が把握しているからこそ、話し合いが深まりました。今後、保護者の方々に子どもたちの発達段階や普段の様子を具体的にお伝えし、共有できるよう努めてまいります。





七夕 ♪一番星～キラキラ～



7日の七夕に向けて、子どもたちはそれぞれ思いを膨らませていました。初めての年少組は、担任からお星さまの話や絵本の読み聞かせを聞き、自分自身が星の子ちゃんになって踊ったり表現したりする姿が見られました。昨年の経験がある年中組は、うれしそうに短冊のお願いごとを考え、おり姫様やひこ星様の想像の世界を楽しんでいました。また、自然科学館でプラネタリウム見学も体験した年長組は、星の世界に興味をもつ子や、難しい笹飾りに挑戦する子など、友達とやり取りをしながら浸って遊んでいました。



ゼリーおいしい



「わくわくタイム」「シャッフルタイム」「小学生との交流」



今日は、どの先生が絵本を読んでくれるかな？



新津第三小学校のボランティア委員会です。

いいよ、教えてあげるよ。

どうやるの？
教えて！



自分の周りには、いろいろな人がいるということを知り、いろいろな人の話を聞くことや触れ合うことで、人間関係づくりの基礎を学んでいます。楽しいことばかりではなく、困ったときにも声を出して、相手に伝えることの大切さに気付いていきます。



子ども時代に
心の池が
満たされると
生涯
涸れることのない
泉になるでしょう

篠木 眞 写真集より



～1学期 ありがとうございました。～

今年度も感染症対策により、普段とは違う不安やストレスを抱えての新学期のスタートでした。先の見えない状況の中で、子どもたち一人一人が安心して園生活を過ごすことができたのも、保護者の皆様の温かいご支援とご協力のおかげだと感謝いたします。来週は、個人懇談会です。お子さんの成長をお伝えできればと思います。よろしくお願いいたします。